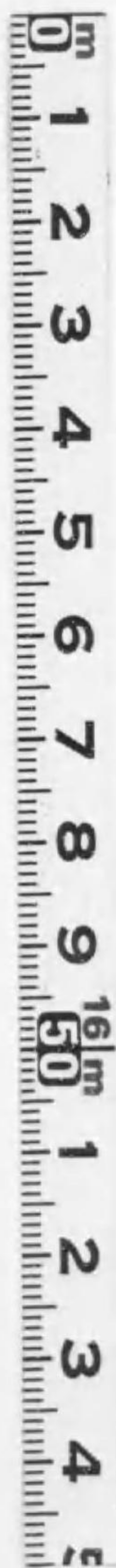


特116

400

正義の叫



始



持 116
400



正義の叫

大正
15. 10. 21
内交

正義の叫

正義の叫

世界を舉げて……日本は何うなる……醒めよ日本國民……
有色人種の解放……一大使命……重大なる結果

米國は侵略國

戰爭を吹き掛けて……日本に對する方針……侵略的大野心……革命叛亂を使喉……陰謀誑詐殘忍暴虐……東洋政策の骨子……日本の正當なる主張を無視

横暴なる米國

日本軍艦十數隻遂に撃沈……大屈辱大損害……米國は益々軍備を擴張……宗教にも其鋒銚を……懷柔掠奪兼行……一大侮辱

眞正面より大痛撃

尋常一様ならざる大覺悟……一進一退……日本國民の責任……全亞細亞民族……人道的概念……幾多の流血慘劇……地球上到る處に……白人に非ざるものは……全人類の世界……舉國一致の力……最後の舞臺

正義の大精神貫徹

附録

順天健全法

健身法

正然法

安然法

常然法

導心法

正導法

安導法

常導法

正義の叫

キリストは、人間平等を説いてゐる。勿論キリストの言を俟つ迄でもなく、人間生れながらにして平等である。天の人を生ずるや無差別平等であつた筈である。たとひ皮膚の色が、白からうが、黒からうが、黄色であらうが、人類一切

世界を擧げて 平等でなくてはならぬ筈である。然るに其の平等の教たる、キリスト教を奉ぜる白人共の中には自分達白人種のみが、眞の人間であつて、他の總ての有色人種は、丸で種類の違つた人間と猿との中間動物、寧ろ猿に近い者であつて、白人の奴隷たるべく生れて來たものである。有るから有色人種が、白色人種の爲に犬馬の勞を爲し、白人の爲に、死するといふことは、有色人種として最も幸福である。と考へてゐる。それが彼等白人共の常識であつて、有色人種を差別し、劣等視するは、當然すぎる程當然のことであると思つてゐるのである。雷に思つてゐるのみならず、到る處に於いて、有色人種を奴隷視し、劣等扱し、有色人種に對しては、横暴の限りを盡してゐる。其最も甚だしきに到りては、タスマニヤ人の如き、白人の爲に、一人残らず虐殺されてゐるのである。

而して、彼等白人共は、遠からず白人支配の世界が、現出せねばならぬと思つてゐる。全世界をして、白人のみの世界たらしめんとしてゐる。

事態既に斯くの如くにして、キリストの唱ふる、眞の博愛平等、如何にしてか、能く行はれることが出来よう、斯の如くにして、正義果して何處にか存する、人道果して如何にかある。若し此の儘にして、押し進んだならば、此先

日本は何うなる であらう、我々七千萬の同胞は、遂に如何なる境遇に落ち入るであらう。我々の子孫は、如何なる苦境に、呻吟しなければならぬであらう。我々は、安閑として、眠を貪つてゐる時では無い

醒めよ、日本國民 奮起せよ、大和民族、起つて奮へ、我が大日本帝國の爲に、七千萬同胞お互の爲に、愛する我等の子孫の爲に。祖先傳來の不屈不撓の精神を以て、世界無比の日本魂を以て、正義の才を眞向から振翳し、横暴國、非人道國の頭上に一大鐵槌を加へ、人道の逆賊を一掃し 有色人種の解放 を圖り以て世界をして、眞に全人類の世界たらしめねばならぬのである。蓋し、天より與へられたる、日本國民の

一大使命 であるからである。起て、神州健兒、奮へ、日本民族。此大目的遂行の爲に、此大使

命遂行の爲に

重大なる結果 之大正十三年四月十日、在米埴原大使から、米國々務長官へ宛てたる、移民問題

に關する公文中の一句であるが、全く其通りである。米國の我國及我國民に加ふる所、如何にも重大の原因である。それが重大なる結果を來すは、洵に已む得ぬ次遵である。我日本に對して、否有色人種に對して、現に最も露骨に、迫害を加へんとするものに米國がある。其米國の日本に對するや、迫害壓迫、愈々出で、愈々辛辣を極む。事毎に日本を制し、日本を壓迫し、日本を排斥する。日本に對する迫害、實に到らざるなく盡さざるなしである。

米國の排日は、生活問題、即ち經濟問題以外のあるものがあるのである。何故ならば

米國は侵略國 であるからである。見よ、其歴史を米國、如何に、侵略國に非すと、辨解せんと

するも、歴史が尤も雄辯に、其事實を物語つてゐる。彼米國がフロリダを蠶食しテキサスを侵略し、更に一八四八年には、故意に、メキシコに

戰爭を吹掛 けて兼ねて伏せ置きたる、海軍力を以て、忽カリホルニヤを占領して我物としてしまつた。更に布哇を併呑し、比律賓を侵略し、グアム島を取り、ツ、イラー島までも、占領してしまつた。之でも米國は、侵略國に非すと、云ひ得られるであらうか。僅一世紀の間に、尨大なる領土

を有するに至つたが、其膨張は、常に我々亞細亞民族の國土たる、亞細亞方面に向つてのみの膨張である。此傾向とパナマ運河の開鑿とを、考へ合せたならば、彼米國の對太平洋策

日本に對する方針

も自ら明瞭なるものがあるのである。彼米國が、新に提出し來つた、太平洋問題の如きも、之を煎じ詰めれば、日本を叩潰してしまつて、亞細亞を我が意の儘にせんといふことに歸着してしまふのである。然るに彼米國は、自分の事は棚に上げてをいて、我日本を捕へて、侵略主義である。軍國主義であると罵つてゐる。然し、我々の持つてゐる軍備は、未だ曾つて、侵略若しくは軍國主義の、目的に、使つたことは、一度もない。日清日露の二大戦役は、共に、我日本の存立に對する、國民的自衛防禦權の發動に外ならなかつたのである。また世界大戦亂の當時、今の米國は、何と言つて、我日本に感謝したか。日本艦隊は、東洋に於ける獨乙の根據地を破壊し、一面には濠洲の陸兵を地中海方面迄保護し、他面には日本巡洋艦は、布哇に於いて、獨逸のエムゼン號が正に破壊せんとしたのを追拂ひ、遂に亞弗利加沿岸より米國海岸に亘り、日本海軍の力に依つて、米國の領土及其沿岸は、無事なることを得たのであつた。其有難かつた時のことはもう忘れてしまつて、矢鱈に日本を攻撃する。やれ軍國主義だ。侵略主義だと罵倒し、如何にも、我日本が

侵略的大野心

でも抱藏してゐるかの如く、世界各國各民族間に、盛に宣傳し、各國及各民族を

して、日本は侵略國であるといふ様に、信せしめんと、盛に宣傳してゐる。然して日本を陥れんと力めてゐる。其實彼米國こそは、軍國主義であり、侵略主義である。然し表面は何處までも、正義人道國を装ふてゐる。或人曰く、「元來米國は、アルマン人の貪慾に、正義人道の假面をかぶせた國であつて、其假面が破れば、爲我一天張の政策を行ふ國である」と云つてゐるが、彼のコロンピヤ共和國が、其のパナマ運河の地帯買収に、容易に應せざるや、米國は

革命叛亂を使喚

して之を助けてパナマ共和國を創立せしめ、之をして、自分に都合よき運河地帯賣讓條約に調印せしめたのである。

メキシコに於いて、テアス政府の持續する限り、米人の、メキシコ内に於ける、利權獲得上、便利ならざるが爲、遂にマデロ革命を助けて、メキシコ政府の顛覆を圖り、後ウエルタ政府の時も、米國は之を壓迫せんとした。然るにウエルタの毅然として之に屈せざるや、米國は、遂に全海軍力を以てメキシコ海岸の封鎖を企てたるのみならず、兵を派してベルグルズの占領さへ行つたのである。

布哇に於いても、布哇に於ける米人は、布哇の土人を操つて叛亂を起させ、布哇最後の女王リウカラニ陛下を、國外に逐はしめ

陰謀詭詐残忍暴虐

以て遂に布哇を強奪したのである。殆んど盲目的にして何物をも犠牲として

願ざる米人の侵略慾は、更に暴進して、比律賓獨立の義軍をも撃滅して、武力に訴へて、遂に比律賓をも侵略してしまつた。

本來米人は、好戰的にして數百年間歐羅巴に於いて戰爭に次ぐに戰爭、征服に次ぐに征服以て覇を唱へ來つたチュートン人の子孫にして、之に加ふるに、野性滿身一攫して巨富を得物慾を逞うせんと志し、新大陸に移住したる殘忍野卑なる各種の人民が、米人の元素なるを知るときは、其の健國以來戰爭を爲すこと、實に一百十有四回、大小戰鬪八千六百回に及び、僅か一世紀の間に、其領土を十數倍せるの、決して偶然に非ざるを看取するを得るのである。

米國と支那との貿易は隨分以前より行はれてゐたのであつて、それを一層擴大しようといふのが、米國の所謂

東洋政策の骨子

であつた。そして近頃迄公然英國を商敵としてゐたのであつて、眼中唯英國あるばかりであつたから、日本などに對しては、極めて親切であつた。勿論其親切は、日本の爲を思ふてはなく、米國の利益の爲であつたことは云ふまでもないが、兎に角親切にした。日本は亦支那から轉任して來た東洋輕蔑の、パークス英公使に威張られて居る最中であつて、米人の正義人道は非常に有り難く受取つたのである。今日に至る迄、動もすれば、日本人が、正義人道主義の米國にして云

々と、論ずるのは、頭の中に其當時の記憶が残つてゐて、漠然米國の正義人道を認めるからである。然るに米國の方では、日本が餘りに長足の進歩をし、富力も腕力も増大して來て、支那を破り、露西亞に勝ち、朝鮮を併合し、支那貿易も香港を除けば、第一番の巨額を行ふ様になつて來たので甚だ面白くない、今の内に日本を叩潰してしまはねばと、遂に愈々其本性を露はして來たのである。さればこそ巴里會議に於いても、我が

日本の正當なる主張を無視 せんとしたのである。日本は、獨逸より直接還附を要求せる支那の主張を説破して、日本青島餘有權は明に確立するに至りたるにも拘らず、彼米國は、日支兩國間に存在する凡ての條約を無視し、日本に對して、一九一五年及一九一八年の日支協約と相容れざるが如き還附條約を設定せんことを、強硬に要求した。

青島は戰利品の一種なるが故に、聯合國は其處分方法を聯合國會議に附するの權利ありと主張して日本全權を窮地に落入れ、日本全權をして、青島を支那に還附することを誓はしめたるのみならず、其還附條件をも聯合國最高會議に於いて協議すべきことを餘儀なくせしめたのである。

また日本全權の提出せる、人道に立脚せる、人種平等案の如きも、反對者は英米を頭に僅六ヶ國に過ぎなかつたのであつて、其時の大多數は賛成してゐたにも拘らず

横暴なる米國

は全員一致を得ざりしとの理由の下に、此人種平等案を、正義人道に立脚せる此人種差別待遇撤廃案を、無理矢理に否決してしまつた。之でも米國は人道國であると云ひ得られるであらうか。之でも米人は博愛平等を愛する民であると云ひ得られるであらうか。全世界十二億の有色人種多年の宿望であつた人種平等案は、米國の横暴に依つて、遂に葬り去られてしまつたのである。元來米國の亞細亞に對する野心は、今日に始つたのではなく、彼米國が太平洋岸に出で來つた一八四八年に始つてゐるので、それから出も無く五年にしてペルリが我浦賀に來て居り、其目的が日本群島の一を占領して、亞細亞に足場を得んとせるにありしことは、明々白々なることであつたのであつて、今や彼米國は總ての準備を整へ、最後の一撃を加へて、日本を征服せんとしてゐるのである。曩に華盛頓會議に於いては、我が日本軍艦十數隻、米國の爲に撃沈されてしまつた。同じ一等國でありながら、同じ三大帝國の一でありながら、英米の十に對し我が日本は僅か六といふ比率を以て、海軍力をは制限されてしまつた。華盛頓會議に於いては、米國の爲めに、我が日本軍艦十數隻に撃沈 されてしまつたのである。此軍縮會議なるものは、實に米人の大賭博であつて、太平洋支配日本征服の企圖を成就せんとするの第一着として之を試したるものにして日本を壓迫し、日本の力を殺ぎ取るといふことが、彼米國の第一の目的に外ならなかつたのである。横暴な

る米國は到る處に於いて我が日本を制し、日本壓迫し、日本の利權を奪取し、日本を排斥せんとしてゐる、米國は排日的支那委員と妥協して亞細亞に於いて日本に取つて代らんとするの野心を有し、表面は人道主義を云々するに拘らず、國際主義に代ふるにモンロー主義を主張し、日本労働者に對し門戸を閉じ、今や更に支那の門戸をも閉じさせんとしてゐる。米國は事毎に支那に於ける日本の行動を妨害し、日本を支那より退却せしめんとしてゐる。米國の爲めに山東は奪回せられ、又滿蒙よるすらも遂ひ出されんとしつゝある。更に亦米國の爲めには我が日本の領土たる千島、小笠原島、奄美大島、琉球、臺灣及び澎湖島に新に軍備を施すことを出来なくされてしまつた。實に重ね々々の大屈辱大損害 といはなければならぬ。最早東洋に於いて何事も出来ざるやう日本の手足を縛して置いて、然る後

米國は益々軍備を擴張 し全國民を擧げて軍事の訓練を施して、一朝事あるに當つては、舉國出兵するの準備を整へ、主力艦隊を太平洋に移し、太平洋岸に、堅固なる、軍港、要港、前進根拠地を設立し、着々、軍備に吸々たるは、之れ全く日本を征服せんが爲めであつて、米國の陸海軍は、其の飛行機を以て其の艦隊を以て、如何にして、日本を衝かんかを、日夜焦心研究してゐるのである。元來白人の貪慾は、亞細亞人に十倍し、而して其貪慾は

宗教にも其鋒を

露はしてゐる。耶蘇教がアルヤン人の手に移つて後は、其の傳播力が著しく強くなり、何でも世界中を、此の信仰で征服しようとかゝる、其のうちには法王なるものが出来て、神の代官と名乗り、天と地とを連絡せしめた様な顔をして、愚民を有り難がらせ、歐洲の帝國も一時悉く、法王の奴僕となつた位であつて、宗教は實に一個無形の國家であつて、僧侶の征服は政治家の征服と何等異るところが無いのである昔は僧侶を連れて蕃地へ侵入し

懷柔掠奪兼行

ふのが白人の一本槍であつた。見よ彼等が濠洲瓜蛙等に根據をすえた時は、何時でも宣教師が、其の國人懷柔の仕事を行つてゐるではないか。殊に比律賓の如きは、全土の人を悉く信者にしてしまひ、彼等は常に神の名に隠れてサンク、其國を弄ひ、多くの善男善女から、能ふ限り其の膏血をば搾り取つたのである。白人は今も猶ほ宗教を利用して己れの貪慾を満さんことを忘れないのである。

或人曰く「米國はモンロー主義を利用するのみにして之を遵奉せず朝鮮暴動の背後には米國の宣教師あるに非ずや、ハルバードは其著書に於いて米人は世界の保護者なりと自負し、殊に朝鮮を獨立せしむる天職を有すと豪語してゐる」といつてゐるが、米國のナイトといふ海軍司令官は、米國の國是は四點に歸着する。其の第一點はモンロー主義の擁護で第二點は巴奈馬運河の安全、第三點は支那の

門戶解放、第四點は亞細亞人の排斥であるといつてゐる。米國のモンロー主義は亞米利加に向つて他國の干渉を許さないと云ふ主義であつて、其の主義を唱へて居る傍ら、支那の門戶解放を主張する。國內から亞細亞人を排斥する。といふのであつて、何といふ得手勝手なる主張であらう。

今や米國は、露骨に、大膽に、亞細亞人排斥を行つてゐる。殊に日本人に對しては、最も辛辣に、最も極端に、其の排斥の手をば延ばして來た。

七十年前、軍艦や大砲までも持參して、我國長夜の眠を覺まし、否應なしに、我が日本を開國せしめた、彼米國は、今や我が日本國民を、其廣々、漠々たる無限の寶庫より拒絶し、放逐し、迫害し去らんとする。意外といへば此程意外はない。布哇の砂糖、加州の野菜、其他太平洋岸をして現時の繁榮あらしめたるもの、固より我が日本移民の力與つて大いに居る。然も今日に於いては砂漠を變じて樂園となしたる日本國民に向つて、總べての物を覺えざるのみならず、歸化する權利さへも奪ひ去り其の住居は愚か入國さへも不自由にし、飽まで我々日本國民を侮辱し、壓迫し、排斥し去らんとし、我々日本國民は、米國の我が國民に對する差別待遇に依つて、劣等人種扱ひに依つて、米國より大侮辱をば與へられた。白晝公然列國環視の裡に於いて、我が日本國民の額に、劣等國民といふ焼印をば捺され。彼の横暴なる米國の爲に

一大侮辱 をば與へられたのである。

我國は曩に巴里會議に際して人種差別待遇撤廢案、即ち人種平等案を提出して以來、我が國策上の一大方針として、人種平等待遇を唱へて來てゐる。我國は常に此主張を以て起つてゐる。之れを我が國策上の一大主義と爲してゐる。機會ある毎に、此主義を唱へ、機會ある毎に、差別待遇撤廢の叫びを擧げて、少くとも、歩一步、理想に向つて進まんとしてゐるのである。斯かる主義と主張とを以て日本國民は起つてゐるのであるのに、米國は、我々の此主義主張に向つて

眞正面より大痛撃を加へたのが、彼の非人道極まる排日法であつて、若し此儘泣き寝入りするが如きことあらば、正に之れ、我が帝國の大主義を放棄し、國策上の自殺を意味することになるのであつて、到底我々日本國民の忍ぶ能はざる所であるのである。

日清戦争後三國干渉があつて、勝ち誇れる我が國民は頭上に一大痛棒を加へられ、臥薪嘗膽と稱へたことがあつたが、今此の米國の排日は、近來大國の列に入りたりと自惚れつゝあつた日本國民の頭上に再び、大痛棒を加へられたものであつて、精神的大打撃は、彼の三國干渉の場合よりも、より一層大なるものがあるのである。我が國民は其處に一大教訓の含まるゝことを記憶し、然して國民として後日會稽の恥を雪ぐの一大決心をせなければならぬ。此大屈辱を雪ぐ爲めには、國民擧つて

尋常一様ならざる大覺悟 をせなければならぬのである。

今や世界の有色人種は——之れまで白人の爲めに、征服せられ或は壓迫せられて來た。世界十二億の有色人種は——皆日本國民と行動を共にせんとしてゐる。有色人種を救つて呉れるものは日本である。我々は日本に依らなければ、白人の壓迫から逃れることは出来ない。我々有色人種を、現代の土隸的境遇から救つてくれるものは日本の外ないのであると、今や世界十二億の有色人種は、皆日本を頼りにし、日本國民を兄貴の如く思ひ、日本國民と行動を共にせんとしてゐる。日本國民が左へ向けば、彼等も左に向き、日本國民が右に向けば、彼等も右に向き、其の

一進一退 を悉く日本國民と共にせんとしてゐる。されば日本國民の擡頭は、全世界十二億の有色人種に、至大なる反響を與へ、有色人種の、白人に對する解放運動は、將に世界的大潮流とならんとしつゝあるのであつて、若し此の運動が、到る處旺盛になつたならば、其數に於いて、遂に白人を越ゆる有色人種の世界支配の時代現出し來るの第一着とならんも測り知れず、白人を此の恐るべき運命より救ひ、過去の榮華を續けしめんとするには、先づ第一に日本を屠らざるべからず、日本さへ屠れば、随つて有色人種の氣勢も挫けるべしとは、云ひ合さずとも、白人種各自各個の心中に必然湧き來るの感情であつて、白人共が、第一に、日本を排斥し、日本を壓迫し、日本を叩き潰さんとするの

所以亦此處に存するのである。實に

日本國民の責任

や重且大と云はなければならぬ。日本國民の一進一退は、實に、全世界十二億有色人種の興亡に拘るのである。

今や人種的反感は、あらゆる階級を通じて、湧然起つて來た。労働者は祖國を有せず。と、いふ言葉があるが、然し労働者は矢張り血を有つてゐる。皮膚に色を有つてゐる。人種的反感はどうしても除くことは出来ぬのである。若し然うでなかつたならば、米國の労働組合が、日本人を排斥する理由がないのである。排日法、移民問題、之れ皆、人種問題が根元であるのである。

支部に於いても目醒めた人々は、米國が移民法を日本人にも適用するは、亞細亞全體の恥辱である。米國が支那を助ける真似をするのは、支那の爲めではなくて、自分の利益の爲めであると論じてゐる。また印度に於いても、米國の日本に對する横暴を憤り、米國の不法極まる排日法は、嘗に日本に對してのみならず、實に

全亞細亞民族

に對する侮辱である。正に獸的蠻行があつて、全亞細亞民族に對する不正義の強要であると憤慨してゐるのである。

一體米人は、キリスト教徒なる關係上、博愛を裝ふ必要がある。茲に於いてか彼等の襲撃を受けて

傷づけるものに綳帶を與へ博愛を爲せりと號してゐる。現に米國政府は、滅滅し行く亞米利加印人

人道的概念

の發揚なりといつてをるが、元來米大陸は、此等印人の國土たりしものにして、之れをして衰乏今日に至らしむるまでには、米大陸の各所に於いて

幾多の流血慘劇

の行れたるを想ひ出ださば、思ひ半ばに過ぎよう

更に米國に於ける、黒人の白人より受けてゐる待遇は、先づ人間と家畜との中間、半ば家畜と見做してよい位の待遇であるといはれてゐる。汽車には上等車に乗ることを禁せられ、一流のホテルに泊ることが出来ず、理髮するにも一流所へは行かれず、書を讀まんと慾しても公衆圖書館に入るを許されず、夏の暑さを樹陰に凌がんと、公園に赴けば、此處黒人入るべからずとの制札がある。活動寫眞は見てもならぬといふ、教會でも黒人の入つてならぬ教會があり、又日本の交番の如き、小さい建物を作り、其處に黒人を入れ、白人の住居は上等なれども、黒人の住居は下等、白人の市街は衛生設備完全し、日に二回以上の掃除を爲すも、黒人の市街は不潔不衛生にして、日に一度の掃除すら必ずしも頼むに足らず、汽車の用事を聞く所まで、黒人と白人との差別があつて、先づ空氣に黒白の別があるかと思はれる位、區別してゐるといふが、之れが果して、博愛平等を愛する國民の爲すことであら

うか。之でも米國は、正義人道の國であるのであらうか。斯くの如くに、人種的反感が強い、白色人種外の他人種、即ち有色人種をば、能ふ限り侮辱し、壓迫し、劣等扱ひせんとしてゐる。例へば日本人でも、テキサス州に、三井の綿の會社がある。其處の重役でも、一流の紳士の住む住宅には住むことが出来ず、また社交俱樂部にも入ることが出来ないといふ。白人の有色人種を差別待遇し劣等視するは、常に米國內に止まらず

地球上到る處に 於いて行はれつゝあるのである。例へば印度に於いて市街に共同便所がある。其の一方の綺麗な石を以て疊み上げた共同便所には、白人のみ入るべしと書いてあつて、苟くも白人に非ざる者は

たとひ英國のチンブリツチ大學やオックスフォード大學の卒業生と雖も、其便所を使用することは絶対に出来ず、片側を見ると、不潔なる便所があつて、其處こそは、我々有色人種に許されたる便所である。其處には如何に高位高官の者と雖も、有色人種として、生を此世に受けたるものは、之れを使用せざるを得ないのであつて、其他俱樂部などに於いても凡て其俱樂部の會員として白人と自由に交際することが出来ないものである。斯くの如く地球上到る處に於いて、我々有色人種は、白人種の爲めに、劣等扱、差別待遇されて來たのである。然して今や有色人種も漸く目醒めて來た。世界十二億の有色人種は今や自ら覺醒して來た。日本國民を盟主として、一致團結、有色

人種擧つて起ち、横暴なる白人種に當らんとしてゐる。其の眞面目なる自覺自信を呼び起し人種平等の大旗を先頭に押し立て、正々堂々、白人種に對し、解放獨立の自由戰爭を開かんとしてゐる。世界をして、眞に

全人類の世界 たらしめざれば巴まざらんとしてゐるのである。

大正八年巴里會議に於いて、世界の五大強國なるものが、彼の歐羅巴に於ける土耳其のスマルナを土耳其より削除した。此五大強國の削除に對して、土耳其の青年黨が、一大國民運動を起して、其司令となつたケマルパシヤが其の陣頭に起つた。流石五大強國が巴里會議で決議した議案も、土耳其國一致の力の爲めには、遂に踏破られてしまつた。土耳其は是が爲め一旦條約上、即ち平和條約に依つて失ひたるスマルナを再び恢復することが出来たのである。團結の力、殊に

舉國一致の力 の如何に偉大なるか、此の一事を以て觀るも、明かに之れを知ることが出来る。我々日本國民が、祖先傳來の不屈不撓の精神を以て、世界無比の日本魂を以て、七千万の同胞悉く國を擧げて奮ひ起ち、人種平等の大旗を先頭に押し立て、正義の戈を眞向から振り翳し、勇往邁進したならば、天下如何なる國か果して能く日本に敵對し得るものぞ。今や大西洋印度洋時代、英國の專制時代は去つて、將に太平洋時代となり、米國の專制時代に轉化せんとしつゝある。此の地球上の舞

臺といふ舞臺の最後に残された所の、然も最も廣い所の太平洋は今や人類競争の角逐場裡となつた。有色人種中たつた獨り残された我日本國民は此の

最後の舞臺に現はれざるを得なくなつた。此最後の舞臺に於ける日本國民の勝敗如何は、直ちに至世界有色人種の興亡に拘はるのであつて、今更ながら我が日本國民の責任の、如何に重大なるかに驚かざるを得ないのである。

此の正義の大戦争、此の

正義の大精神を貫徹する大運動の爲めには、政黨の如何を論せず、宗教の何たるを問はず、七千萬同胞悉く國を擧げて奮ひ起ち、一致團結、力戰奮闘し、恰も烈風吹き來るや、うちの朽ち果てたる枯木は一本残らず吹き飛ばさるるが如く、一致團結の力を以て、舉國一致の力を以て、心の中の朽ち果てたる、正義の觀念の枯死せる、非人道國をば一掃し、有色人種の解放を圖り、世界をして、眞に、全人類の世界たらしめねばならぬと信するのである。

順天健全法

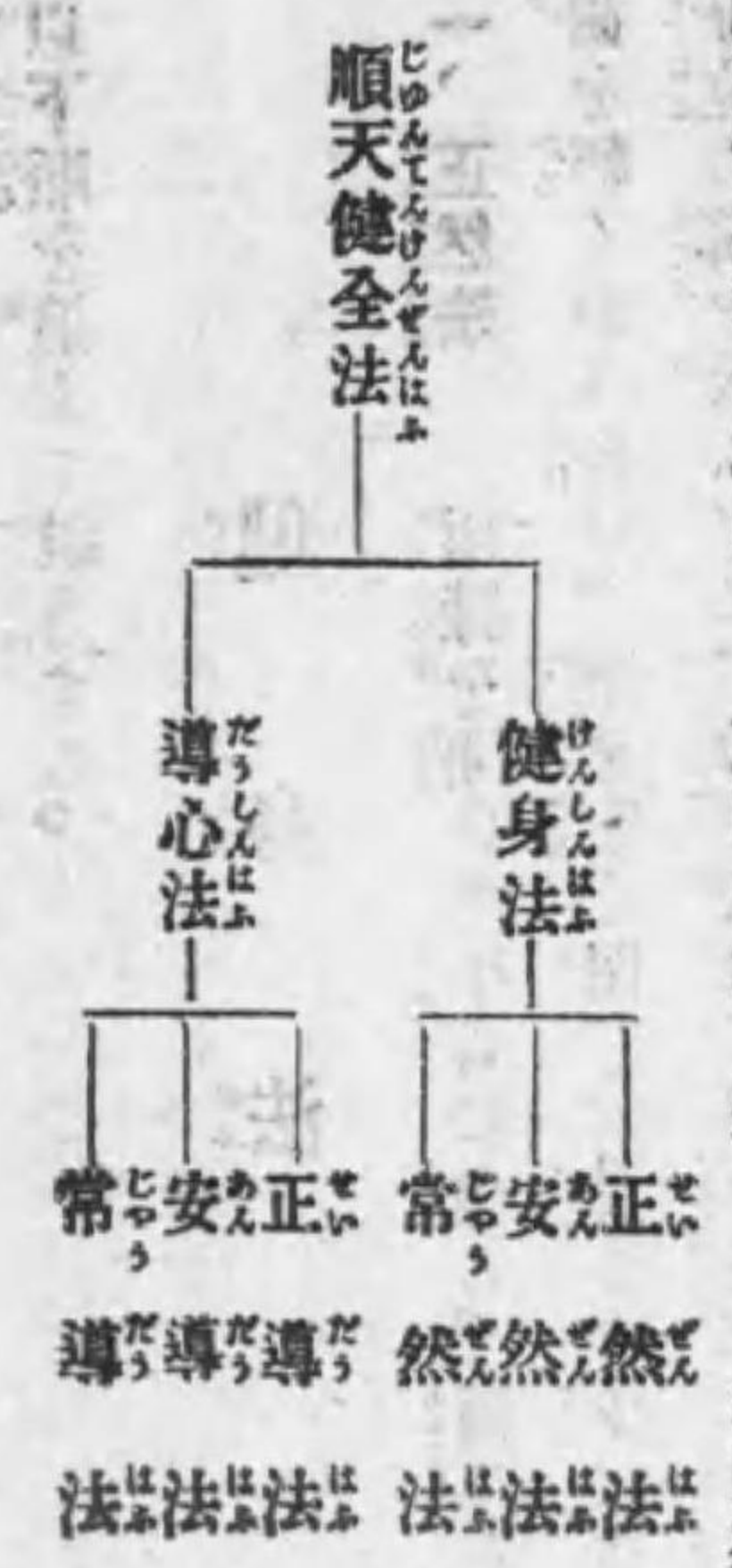
順天健全法

順天健全法

健全なる心身は、成功の父であり、幸福の母であり、人生無上の至寶たるのである。而して、此の順天健全法は、人生無上の至寶たる健全なる心身を得る方法中の、一最良方法なれば、茲に説いて、敢て各人の幸福と健康との爲めに之を薦める次第である。

然し深遠なる學理上の討究は、到底紙數の許さざる所なれば、茲には簡單に、其の實行方法のみを説くこととする。

順天健全法は之れを、左圖の如く分つことが出来る。



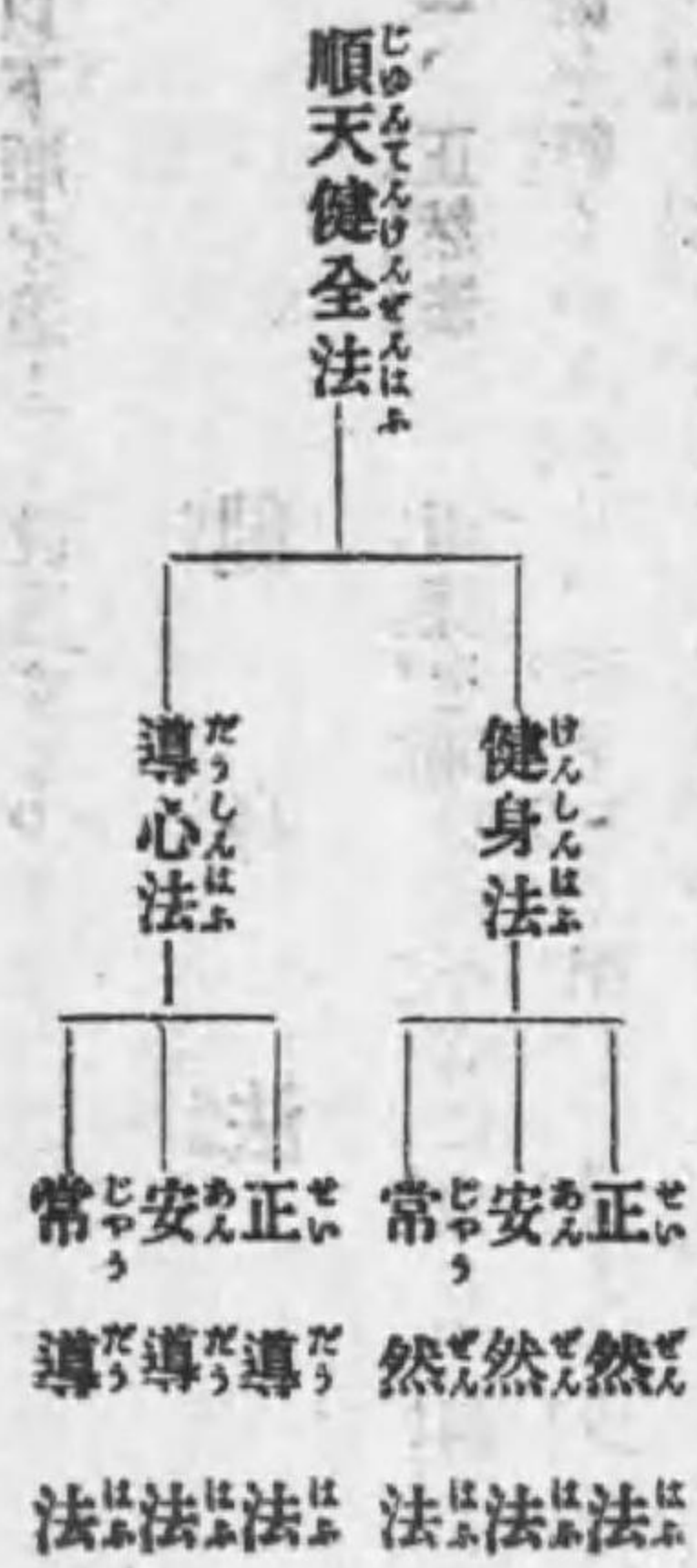
順天健全法

順天健全法

健全なる心身は、成功の父であり、幸福の母であり、人生無上の至寶たるのである。而して、此の順天健全法は、人生無上の至寶たる健全なる心身を得る方法中の、一最良方法なれば、茲に説いて、敢て各人の幸福と健康との爲めに之を薦める次第である。

然し深遠なる學理上の討究は、到底紙數の許さざる所なれば、茲には簡單に、其の實行方法のみを説くこととする。

順天健全法は之れを、左圖の如く分つことが出来る。



以下順を追ふて説述する。

二天

健身法

一、正然法 兩膝を開いて平らに坐る。兩手を陰部の上の邊で仰向に重ね、頭と脊骨を眞直にし、奥歯を軽くかみ合せ、眼を軽く閉じ、鼻より少しづつ息を吹ひ込み、と同時に、丹田（臍の下一寸三分位の處を云ふ）に、力を入れて、下腹部を徐々に前の方へ張り出す。充分吹ひ込み充分下腹部を張り出したならば、今度は少しづつ、静かに口より息を吐き出す、と同時に下腹部を弛める。吐き出せるだけ吐き出したら、又鼻より吸ひ込み、同時に丹田に力を入れて下腹部を張り出す。此方法を一度に三十回宛繰返すのである。

息を吸ひ込んだ時、出来る丈け永く息を止めて居り、苦しくなつたら徐々に吐き出す様すれば一層よいのであるが、最初は仲々出来ないから、慣れてから行ふ様にすればよろしい。

呼吸する時、急にしない様に、よく心を落着けて、静かに、少しづつ吸ふたり吐いたり。する様に力ひること、最初は下腹部に力がない爲、静に行ふことが、むづかしいけれども、行つてゐるうちに段々力がついてきて容易に出来る様になる。最初の間は、苦しいことがあつても、決して中途で止な

い様、段々慣れるに従つて、苦しいのも止み、次第に好い氣持で行ふことが出来る様になるから、充分効果を收めるまで毎日續行すること

最初は練習中よく眠氣を催してきて、知らず／＼眠つてしまふことがあるから、充分精神を緊張して、眠氣が催してきそうであつたら、極力それに反抗せねばならぬ。若しどうしても、止まぬ時は、其位にして切り上げ、段々慣れるに従つて時間も増す様にすればよいのである。

下腹部を張り出す時の注意 前の方へ張り出すので、決して力んで、肛門の方へ力を入れぬこと息は胸でするのでなくて、下腹部でするのであるから、息を吸ひ込む時、胸を張らない様すること

二、安然法 毎朝起床前又は夜就眠前、床の中に於いて、身體を眞直にして（手は兩側に體に副ふて垂れてもよい）三十回宛呼吸するのであつて、其呼吸の方法及注意其他は全部、正然法の場合と全然同じであるから、正然法の處をよく参照せられたし。

三、常然法 行住坐臥、常に怠らず、丹田に力を入れて、下腹部で呼吸する様力ひるので、是迄多忙の爲、坐つて行ふことの出来なかつた人々が、之れのみを實行して、無病強健になつて長生した例は、決して少くないのである。如何なる多忙の人と雖も、此の方法なれば容易に出来る筈であつて、最初の間は、思ひ出した時に、之れを行ひ、次第に度々思ひ出す様にして度々行ふ様にし、遂に

二七

は無意識で、之れを行ふ様、即ち習慣になつてしきつて不知不識、何時でも之れを行つてゐるといふ所まで行く様に努力せられんことを切望する。

醫學博士 二木謙三先生曰く

呼吸の仕方は三通りある。第一は肺炎呼吸で、肩で息をする、弱い人は皆此肺炎呼吸をやつてゐる。強くやれば氣がつくが、静にやれば分らぬ位、婦人は多く肺炎呼吸をやる。之れは最もいけない、其次が胸成呼吸で、胸で呼吸する。之も感心した仕方ではない、最もよいのは腹式呼吸で、即ち下腹部で呼吸する。之れが生理的で一番よろしいのである。と更に腹式呼吸を世人に勧められて曰く、此呼吸法は屋外に出なくてもよろしい。空氣よりも姿勢態度が大事である。此方法を二六時中忘れず行る様に心懸るのが大切で、急に始めて僅一週間や一ヶ月位で直ぐ止めるようではいけない。行るなら、本當に効果を收めるまで、行ることをお勧めする。健康に非常に宜しいのである。効果の現はれた徴候は、腹が段々強くなり病氣といふものにかゝらなくなるのが第一の効果である。如何なる逆境にも、如何なる刺戟にも抵抗力が強くなる。勿論平田翁、白隠禪師、貝原先生の云はるゝが如く、百病も癒える道理である。と、二木博士は申されて居られるが、普通の腹式呼吸ですら然りである。況んや世に傳はる諸の健康法の長を取り、短に捨て、粹を集めたる順天健全法に於いてをやである。

導心法

一、正導法 なるべく静かな處を選び、平らに坐り、眼を軽く閉じ、結目を三十並べた紐を手を持ち、其の紐をつまぐりながら

「日一日とよくなるばかりだ。俺の身體はもう大丈夫だ」とか或は

「精神は爽快に、身體は健全に、余は日一日と幸福に向ひつゝある」

とかいふ様な言葉を、心の中で三十回宛繰り返すのである。

二、安導法 毎晩就眠前、床の中に於いて、右に述べた様な言葉を、心の中で繰り返しつつ、眠つてしまふのである（勿論此場合は、紐を用ひるに及ばず）

三、常導法 時や處を選ばず、眼も閉じる必要なく、姿勢態度も構はず、何時でも思ひ出した時に（たとへば労働しつゝ、或は歩行しつゝでも）曩に述べた様な言葉を、心の中で繰り返すのである（なるべく多い方がよい）（紐は其の場合の如何により用ひても、用ひなくてもよろしい）

此の導心法を行つてゐると、不知不識、何時の間にか、精神は爽快となり、身體は健全になるのであつて、況んや、健身法と併せ行ふ時、如何に能く、心身を壯健ならしむるか、今更喋々を要せざる

所である。

此の導心法は、雷に病氣の場合のみならず、或は、悲觀性を樂天的に導く爲めに、或は、意志の力を強固にする爲めに、或は膽力を増進する爲めに、其他自分の性格の缺點短所を矯正する爲めに、等色々の場合に應用して、偉大なる効果を收めることが出来るのである。

(其の場合々々に依つて適當なる言葉を作つて)

世には重病にても罹りて 醫師より少し重い様にでも云はれると、直ぐ悲觀して、もう俺は駄目だと諦めてしまひ。死仕度などする人がよくあるが、如何なる病人と雖も、精神さへ緊張してをればそう容易に死ぬべきものでない。私の知つてゐる人の如きは、醫者は勿論、親兄弟までも見離して諦めた程であつたが、本人は仲々しつかりして居つて、身體こそ非常に衰弱してゐたが、精神は實にしつかりしてゐて「俺はどんなことがあつても決して死なない、必ず原の達者な身體になつて見せる」。「俺は必ず全快する大丈夫だ」と、盛に導心法を行ひ、醫師が何と云はうが、坊さんが法を説かうが誰が何と言はうが、そんなことには耳もかさない。自ら自分の精神を勵まし大いに元氣附け、如何なる危険も一向平氣で、心配や悲觀はあつともせず、心をよく落着けて然も平氣の平左で、泰山前に崩るゝとも動かさず、百萬の敵に圍まるゝとも恐れざる、泰然自若たる態度で、現在の自分として、歩一

310
37

歩、よりよき方へ向つて進むべく、即ち治病健全への道として、盛に導心法を續行し、併せて不充分ながらも、最善の努力を盡して、健身法をも勵行し、即ち順天健全法を實行して、トウ／＼不治の病人が無病壯健の青年となり、今では其稼業たる農業に従事してゐるが、如何に骨の折れる仕事をしても平氣で、又幾等でも續行することが出来るといふ、實に無病壯健たる身體、實に、健全なる心身の所有者となつた實例があるが、勿論之れは一例に過ぎないので、此の順天健全法により、醫者の見放したる病人すら全治した例は、實に多數あるのであつて、此の順天健全法の効果の、如何に偉大なるか、百發の空彈より一發の實彈、論より證據、布くは克己と忍耐、根氣と熱心とを以て、其眞價を實際に、試されんことを、然して、人生無上の至寶たる健全なる心身と幸福とを獲得せられんことを切望して己まない次第である。

發行所

正義熱血社

大正十五年十月十日印刷
大正十五年十月十五日發行

內務省納本號

東京市外下尾久六七〇

發行者 岡野保太郎

印刷所 東京市神田區三崎町三ノ一二一
三要社印刷所

神田區三崎町三ノ一二一

印刷者 川井清三

東京市外下尾久六七〇

發行所 正義熱血社



發行所

五洲藥房



大正十五年十月十日發行

五洲藥房

上海
南京
漢口
廣州
香港
天津
北京
長沙
重慶
成都
昆明
西安
蘭州
西寧
銀川
迪化
哈密
喀什
和田
阿克蘇
庫車
焉耆
吐魯番
哈密
鄯善
庫車
焉耆
吐魯番

終